【令和8年度　全国学力・学習状況調査の結果から】

今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果分析についてお知らせいたします。
国語・数学については、「概要」と「課題」、「改善の方向」について、英語については、公開問題の領域に偏りがあるため、本校が課題と捉える問題を抽出し、それに対する「改善の方向」を示します。
国語・数学においては、全領域で全国の平均正答率を上回っておりますが、「課題」については、本校として、「さらに伸ばしていきたい点」として挙げさせていただきました。

※全国の状況については、文部科学省や札幌市の HP を御覧ください。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △全国平均を上回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 △全国平均を上回っている。 「話すこと・聞くこと」 △全国平均を上回っている。 「書くこと」 △全国平均を上回っている。 「読むこと」 △全国平均を上回っている。	➢語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 ➢互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ➢表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、文章のよい点や改善点を見いだすこと。 ➢文章を読んで理解したことに基づいて、表現の効果と根拠を結び付け、自分の考えを確かなものにすること。	➢語句を辞書的な意味だけで捉えるのではなく、前後の文脈や具体的な使用場面と関連付けながら意味を考え、語彙を豊かにする学習活動の充実。 ➢互いの意見の共通点や相違点を捉え、質問や応答を通して考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的に応じて自分の考えをまとめる学習活動の充実。 ➢読み手からの助言や相互評価を生かし、文章のよさや改善点を見いだした上で、自ら文章を推敲する学習活動の充実。 ➢文章中の表現とその効果を結び付け、叙述を根拠として自分の考えを説明したり、考えを深めたりする学習活動の充実。

記号の意味

（△）上回っている　↑

ほぼ同程度
（◇）やや上回っている　＋３％
（◆）やや下回っている　－３％
←全国平均正答率に対して

（▼）下回っている　↓

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】		
「数と式」 **△全国平均を上回っている。**	➢統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	➢具体的な場面における数量やその関係を文字や式などで表し、複数の見方を関連付けながら、事柄の特徴を数学的に説明する学習活動の充実。
「図形」 **△全国平均を上回っている。**	➢数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	➢表、式、グラフなどを相互に関連付け、問題解決の過程や用いた方法を数学的な表現を用いて説明する学習活動の充実。
「関数」 **△全国平均を上回っている。**	➢具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。	➢証明する事柄について「仮定」と「結論」を明確にし、成り立つために必要な条件を自ら見いだしながら、筋道を立てて考える学習活動の充実。
「データの活用」 **△全国平均を上回っている。**	➢データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形などの特徴を基に説明すること。	➢複数のデータの分布や傾向を比較し、その特徴を根拠として判断したことを説明するなど、データを批判的に考察する学習活動の充実。

記号の意味

（△）上回っている　↑

ほぼ同程度　（◇）やや上回っている　＋３％　（◆）やや下回っている　－３％　←全国平均正答率に対して

（▼）下回っている　↓

【中学校英語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 **「聞くこと」** **△全国平均を上回っている。** **「読むこと」** **△全国平均を上回っている。** **「話すこと［やり取り］」** **△全国平均を上回っている。** **「話すこと［発表］」** **△全国平均を上回っている。** **「書くこと」** **◇全体として全国平均をやや上回っている。**	➢音声や語彙、表現、文法などの知識を、実際のコミュニケーションの場面に応じて活用し、正確に英文を書くこと。 ➢社会的な話題について英文を読み、要点を捉えた上で、自分の考えとその理由を書くこと。 ➢日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。 ➢日常的・社会的な話題について、自分の考えや気持ちを整理し、理由とともにまとまりのある内容を話すこと。	➢語彙や文法などを個別の知識として身に付けるだけでなく、実際のコミュニケーションの目的や場面、状況を意識しながら英文を書き、振り返りや書き直しを行う学習活動の充実。 ➢英文を読んだり聞いたりして得た情報を基に、自分の考えをもち、その理由や具体例とともに英語で表現するなど、複数の領域を結び付けた言語活動の充実。 ➢伝えたい内容を整理し、「事実」「自分の考えや気持ち」「理由」などを関連付けながら、まとまりのある英文を書く学習活動の充実。 ➢身近な話題から社会的な話題まで、短時間で自分の考えを整理して英語で伝え、対話や振り返りを通して再度表現するなど、即興的に話す力を育む学習活動の充実。

記号の意味

（△）上回っている　↑

ほぼ同程度　（◇）やや上回っている　＋３％　（◆）やや下回っている　－３％　←全国平均正答率に対して

（▼）下回っている　↓

令和8年度 全国学力・学習状況調査
生徒に対する質問紙調査結果から
― 八軒中学校の概要 ―

1．肯定的な回答の割合が特に高い、または全国平均と比較して高い回答が見られた質問項目

【生活・行動面】

〇自分には、よいところがあると思いますか。
〇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
〇困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
〇学校に行くのは楽しいと思いますか。

【学習面】

〇1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
〇学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
〇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
〇総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。

2．肯定的な回答の割合が低い、または全国平均と比較して低い回答が見られた質問項目

▲「朝食を毎日食べていますか」について、「している」と回答した生徒の割合が全国平均と比較して低い結果となりました。

3．結果と今後の取組

〇全体として、学校生活を肯定的に捉え、教師から自分のよさを認められていると感じたり、困ったときに学校の大人に相談できると感じたりしている生徒が多くいます。
〇各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめたり、学習を振り返って次の学習につなげたりするなど、主体的に学習に取り組んでいる生徒が多くいます。
〇総合的な学習の時間では、自ら課題を設定し、情報を収集・整理して発表する一連の学習活動に取り組むとともに、ICT 機器を学習の道具として活用している生徒が多くいます。

◇課題探究的な学習をさらに推進するために、自分の考えとその根拠を明確にして表現する活動や、学習の過程を振り返り、考えを修正したり深めたりする活動を大切にしながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていきます。
◇各教科の授業や学校行事など、様々な教育活動の中で、生徒が互いのよさや可能性を発揮し、認め合える仲間づくりを進めるとともに、家庭とも連携しながら、基本的な生活習慣について生徒自身が考え、よりよい生活を選択できるよう取り組んでいきます。

※今回の調査で明らかになったものは生徒の一面にすぎませんが、得られた結果を大いに参考にし、学校と家庭が一体となって、学ぶことの意義や価値、学び方についても丁寧に伝えていくことが必要と考えております。今後とも、ご理解とご支援をお願いいたします。